



■講演

「風土に刻された災害の宿命・日本の治水史」

講師：竹林征三氏

■講師プロフィール

竹林 征三氏(工学博士)(技術士)

【略歴】

1969年 京都大学大学院修士課程修了後、
建設省に入省
1997年 (材)土木研究センター風土工学研究所長
2000年 富士常葉大学環境防災学部教授、
附属風土工学研究所長
2010年 富士常葉大学名誉教授
2011年 風土工学デザイン研究所理事長
2012年 山口大学時間学研究所客員教授(2013まで)

【著書】

「風土工学序説」「風土工学の視座」「ダムのはなし」
「環境防災学」「ダムと堤防」「風土千年・復興論」
他多数
新しい工学大系として「風土工学」及び「環境防災学」
を構築し、その普及啓発に努めている。

【現職】

風土工学デザイン研究所 理事長
環境防災研究所長



[7月13日(木) 10:20~11:50] 10:10開場

■会場：山口大学工学部 D11講義室(1階)

〒755-8611 宇部市常盤台2-16-1

■参加費：無料

■主催：山口大学工学部社会建設工学科

■問い合わせ先

山口大学工学部社会建設工学科事務室 TEL 0836-85-9300 FAX 0836-85-9301



河川
基金

この講演は公益財団法人河川財団河川基金助成事業の助成を受けております。